基幹工学部　環境生命化学科カリキュラムマップ

【環境生命化学科の教育の特色】

1年から絶え間なく実験・実習科目を配当し、講義科目で身につけた豊富な知識を経験へ変えるカリキュラムになっています。

また、「Science Grit」では、将来研究・開発の仕事に就きたい学生向けに、1年から科学研究法を少人数で基礎から学ぶものです。3年秋まで続き、学会発表を目標としています。「SDGs for Engineers」では、学生同士のグループで、環境に配慮した材料をベースにSDGs実現のための工学的視点でのアイディアを挙げ、それを具体性のある提案として完成させます。学生のための環境系全国大会に参加し、入賞することを目指します。

1年から2年

環境・生命・化学の分野において、将来の技術革新にも柔軟に対応できるエンジニアに必要な基礎的な専門科目を学びます。

2年から3年春学期

基礎知識を確かなものとするために応用的な専門科目を学びます。

3年

卒業研究を進める上で重要な知識を身につけるために、環境・生命・化学に関わる専門科目を学びます。

4年

大学における学びの集大成である「卒業研究 I・II」を履修します。研究室に配属され、ほぼ1日中、各専門分野における本格的な研究・開発について深く学びます。研究室の教員の指導の下、研究・技術課題の発見と解決、科学的思考法、プレゼンテーション法、研究論文執筆法なども身につけます。

上のような教育により、「自然科学・工学に関する豊富な知識と経験を備え、持続可能な開発目標（SDGs）に向けて行動できるエンジニア」を育てます。